

南地域まちづくり かわら版

4月14日（土）、平成30年度の定期総会を開催しました。
提出された4つの議案と1つの認定案件はすべて承認されましたので、
いよいよ平成30年度事業のスタートです。

平成 30 年度スローガン ～子どもにやさしい地域づくり～

1. 子どもの安全・安心を守る

子どもにやさしい地域は、地域住民みんなにやさしい地域にもなります。防犯・交通安全に加え、防災及び地域福祉の視点を持って、『地域住民みんな』が住みやすい南地域を目指します。

2. 対話の場づくり

昨年度から始まった『座談会』では、防災や高齢者福祉等これからの地域課題となり得る『テーマ』について話し合い、地域力を高めるきっかけづくりをします

3. 情報発信

毎月1回、『まちづくりかわら版』を発行し、広報・啓発活動の一環として、会議・座談会・各種事業等の内容をお知らせします。



▲ 佐竹会長あいさつ

南地域自治組織運営目標



▲ 総会の様子

事業の実施にあたっては、地域の皆さんの声に耳を傾け、理事、まちづくり委員で構成する「福祉・防災部会」「防犯・交通安全部会」「広報部会」の活動を充実させます。

また、行政区をはじめ、地域の皆さんとの連携を図りながら、南地域自治組織の基盤づくりを進めます。

青色防犯パトロール車両ご提供者の皆さんに感謝状贈呈



▲左から：安藤さん、大森さん
丹羽さん、宮地さん

定期総会において、平成27年度より、『青色防犯パトロール車』として、自家用車をご提供いただき、南地域のパトロール活動に多大なご協力をいただいている4名の方（安藤汀さん、大森英男さん、丹羽美代子さん、宮地弘信さん）に感謝状を贈呈しました。

研修会『認知症を学び、地域で支えよう！』

定期総会終了後には、大口町地域包括支援センターの井上さんと奈須さんにお越しいただき、総会参加者を対象に、研修会を開催しました。

今後、増加が予想される高齢者との暮らしと日頃からの支えあいについて理解を深めるために、認知症状がある方の行動や特性を知り、認知症の方との関わり方を学びました。



南地域のたからもの vol.9 ～徳住^{とくじゅう}さんの名号碑^{みょうごうひ}～

御供所の白木霊園には、江戸時代後期に活躍した念仏行者の一人、徳住さんの名号碑があります。徳住さんは、奈良子の「アキバサン」に名号碑がある念仏行者の播隆^{ほんりゅう}さんと同じく、各地を巡りながら自らの教えを説き、その痕跡は各地に名号（＝「南無阿弥陀仏」）の石碑や掛軸として残っています。

白木霊園の名号碑は、天保11年（1840）に建立されました。建立当初は大之瀬橋の東側にあったそうです。徳住さんが御供所で一泊した際、本人の書いた名号を元に、当時の人々が建立したと言われています。

徳住さんの名号は細く、流れるような字体であり、播隆さんの太く、力強い名号とは対照的です。南地域にやってきた2人の念仏行者、播隆さんと徳住さん。その人物像を表すかのような名号碑を、ぜひ一度見比べてみてください。

